歴史的分野指導計画表・評価規準

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
1	**歴史学習の初めに**　(p. 1)	● 歴史的分野の学習を始めるに当たって，歴史を学習する意義について考える。 ● 地理的分野や公民的分野との関係について理解し，教科書の目次などを基に，これから学習する歴史的分野の学習の概要を把握する。	● 歴史を学習する意味について考え，歴史学習を通して過去から受け継がれた経験などを学ぶだけでなく，これからの社会に生かそうとしている。**（関心・意欲・態度）** ● 歴史的分野の学習内容のあらましと学習のねらい，地理的分野や公民的分野との関係について理解している。**（知識・理解）**

第１章　歴史の流れをとらえよう（配当 6 時間）　＊(1)のア・イ

◆評価規準の例（章全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりする活動を通して，時代区分や時代の移り変わりに気付かせる。 ● 小学校の学習との関連を図りながら，中学校の歴史学習の導入として，歴史に対する興味，関心，意欲を高めさせる。 ● 時代や年代の読み取り方を理解させ，歴史を学習する際の基礎を身につけさせる。	● 身近な歴史や歴史上の人物，出来事などについて調べたり考えたりする活動を通して，日本の歴史の大きな流れや時代の特色に対する関心を高め，意欲的に学習している。
	社会的な思考・判断・表現
	● 歴史上の人物，出来事などについて考える活動を通して，日本の歴史の大きな流れや時代の特色を考察し，その過程や結果を適切に表現している。
	資料活用の技能
	● 日本の歴史の大きな流れや各時代の特色に関するさまざまな資料を収集し，適切に選択してその過程や結果をまとめている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 時代の大きな移り変わりに気付くとともに，年代の表し方や時代区分について理解している。

歴史－2

◆評価規準の例（各時間ごと）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
2 3 4 5	**歴史の流れをとらえよう** **１　身近なものにも歴史がある！？　(p.5～9)** 歴史の流れ 時代や年代を読み取ろう **２　「歴史の流れ」から思い出してみよう　(p.10)** **３　「歴史の流れ」からまとめてみよう　(p.11)**	● 歴史上の人物や出来事，身近な物事の歴史について，調べたり考えたりする活動を通して歴史を学ぶ意欲を高める。 ● 日本の歴史の移り変わりに気付き，年代の表し方や時代区分についての基本的な事項を理解する。	● 日本の歴史上の人物や出来事について関心を高め，意欲的に学ぼうとしている。**（関心・意欲・態度）** ● 歴史上の人物や出来事について調べたり考えたりして，その過程や結果を適切に表現している。**（思考・判断・表現）** ● 年代の表し方や時代区分についての基本的な事項を理解し，大きな時代の移り変わりに気付いている。**（知識・理解）**
6 7	**４　歴史の調べ学習をするには…？　(p.12～18)** テーマを決めるポイント 調べるポイント 考察するポイント まとめと発表のポイント 見直すポイント 図書室・図書館を利用しよう インターネットを利用しよう	● 歴史上の人物や出来事についての資料を収集したりまとめたりする活動を通して，主体的に学習する態度を身につける。 ● 意欲を持って的確に発表する活動を通して，歴史に対する関心や表現力の基礎を身につける。 ● 学習全体についての評価活動を通して，その後の学習や学習に生かす。	● 図書室やインターネットを活用して，意欲的に資料を収集し，まとめている。**（関心・意欲・態度）** ● まとめたことを的確にカードや年表に表現し，分かりやすく発表している。**（技能）** ● 意欲的に評価活動や話し合い活動に取り組んでいる。**（関心・意欲・態度）**

身近な地域の歴史（配当 6 時間）　＊(1)のイ

◆評価規準の例（各参考事例）（各参考事例とも 6 時間配当）　＊は学習指導要領との関連

主な学習内容	学習目標	評価規準の例
◆古代の玄関口・福岡　大陸との交流を探る　（p. 54～57） 1　学校周辺を探索しよう 2　調べるテーマを決めよう 3　金印から探る（博物館で調べよう） 4　稲作から探る 5　遣唐使から探る 6　調べたことをまとめよう（年表にまとめよう） 7　まとめた内容から考えよう	● 身近な地域の歴史に関心を持ち，博物館や遺跡の見学・調査を通して，歴史の学び方を身につける。 ● 博物館や遺跡の見学・調査を通して，古代の日本と大陸との交流について，具体的に理解する。	● 博物館・遺跡の調査や結果をまとめる活動を意欲的に行っている。**（関心・意欲・態度）** ● 調査した結果を，年表に的確にまとめている。**（技能）**
◆戦国時代の城下町・一乗谷　朝倉氏のまちづくり　（p. 88～91） 1　調べるテーマを決めよう 2　調べてみよう① 3　調べてみよう②（資料館で調べよう） 4　調べてみよう③（図書館や文書館で調べよう） 5　調べたことをまとめよう（グループ内で共有して考えよう，レポートにまとめよう）	● 身近な地域に残る史跡に関心を持ち，現地調査や資料館での調査を通して，歴史の学び方を身につける。 ● 現地調査や資料館の見学・調査を通して，戦国時代の城下町の様子と人々の暮らしについて，具体的に理解する。	● 現地調査や結果をまとめる活動を意欲的に行っている。**（関心・意欲・態度）** ● 調査した結果を基に，戦国時代の城下町の特色について考察し，その結果を的確に表現している。**（思考・判断・表現）**
◆浮世絵にえがかれた風景から　浮世絵を探る　（p. 134～135） 1　調べるテーマを決めよう 2　地域の人にインタビューしてみよう 3　浮世絵作りを体験してみよう 4　プレゼンテーション・ソフトで発表しよう（プレゼンテーション・ソフトを使おう）	● 身近な地域に残る風景や身近な地域をえがいた絵画に関心を持ち，現地調査や体験的な学習を通して，歴史の学び方を身につける。 ● 現地調査や体験的な学習を通して，江戸時代の浮世絵の特色について具体的に理解する。	● 現地調査・体験的な学習や結果をまとめる活動を意欲的に行っている。**（関心・意欲・態度）** ● 調査した結果を，プレゼンテーション・ソフトを活用して的確にまとめ，発表している。**（技能）**

歴史－4

主な学習内容	学習目標	評価規準の例
◆街の中に残る歴史・神戸　開港後の生活の変化を探る （p.186～189） 1　調べるテーマを決めよう 2　資料探しから始めよう 3　街を歩いて資料を集めよう（野外調査をしよう） 4　イラストマップを作ろう（イラストマップを作ろう） 5　新たな疑問を探そう	● 身近な地域に残る記念碑などに関心を持ち，野外調査を通して，歴史の学び方を身につける。 ● 野外調査を通して，開港後の神戸と外国との交流について具体的に理解する。	● 野外調査や，その結果をまとめる活動を意欲的に行っている。（**関心・意欲・態度**） ● 収集した資料を基に，イラストマップに的確にまとめている。（**技能**）
◆原爆ドームと平和への願い　原爆ドームの歴史　（p.230～233） 1　調べてみよう 2　学習課題について考えてみよう 3　自分たちの意見や考えを伝えよう（ウェブページを作ろう）	● 身近な地域に残る史跡に関心を持ち，聞き取り調査や新聞社・資料館での調査などを通して，歴史の学び方を身につける。 ● 聞き取り調査や新聞社・資料館での調査などを通して，原爆ドームと社会の動きについて具体的に理解する。	● 聞き取り・新聞社・資料館での調査や結果をまとめる活動を意欲的に行っている。（**関心・意欲・態度**） ● 調査した結果をまとめ，世界平和の大切さについて自分たちの意見や考えを的確にウェブページで表現している。（**思考・判断・表現**）
◆町の歴史から将来を考える （p.264～267） 1　知っていることを挙げてみよう 2　調べてみよう 3　身近な地域について提案しよう（身近な地域の将来について提案しよう）	● 身近な地域の歴史に関心を持ち，施設の訪問や聞き取り調査を通して，歴史の学び方を身につける。 ● 施設訪問や聞き取り調査を通して，身近な地域の変化について具体的に理解する。	● 施設訪問・聞き取り調査や結果をまとめる活動を意欲的に行っている。（**関心・意欲・態度**） ● 調査した結果を基に，身近な地域の将来について考察し，適切に表現している。（**思考・判断・表現**）

第２章　古代までの日本（配当 19 時間）

◆評価規準の例（章全体）

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 日本列島において人々の生活が始まり，やがて国家が形成されていった過程のあらましを，東アジアの動きと関連付けて理解させる。 ● 大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ，その後，天皇・貴族の政治を展開した古代までの日本の流れを大きく捉えさせる。 ● 古代の日本において，国際的な要素を持った文化からやがて文化の国風化が進んでいくことを，代表的な事例を取り上げて理解させるとともに，日本の文化財に関心を持たせる。	● 世界の古代文明や宗教のおこりへの関心を高め，古代までの日本の大きな流れについて意欲的に追究している。 ● 現代に残る古代の文化遺産に関心を高め，それらを尊重しようとしている。
	社会的な思考・判断・表現
	● 古代文明の特色や宗教のおこり，日本列島における人々の生活の変化について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ● 古代までの日本の大きな流れについて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。
	資料活用の技能
	● 古代における国家の形成，天皇・貴族の政治の展開のあらましや文化などについてさまざまな資料を収集し，有用な情報を適切に選択して読み取ったり，図表にまとめたりしている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 日本列島における人々の生活の変化，古代国家の形成のあらましについて，東アジアを中心とした世界の歴史を背景に理解し，その知識を身につけている。 ● 古代における文化の特色を，東アジアと関わらせて理解し，その知識を身につけている。

1節　世界の古代文明と宗教のおこり（配当6時間）　＊(2)のア

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 世界の古代文明や宗教が生まれたこと，また，日本列島で狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことを理解させる。	● 古代文明や宗教のおこり，古代の人々の生活のあらましに対する関心を高め，意欲的に学習している。 ● 最近のニュースなどで，遺物・遺跡などの考古学的な発見について関心を持っている。
	社会的な思考・判断・表現
	● 金属器の使用，灌漑，文化の発生などから，古代文明の特色を捉え，日本の社会に与えた影響について考察している。
	資料活用の技能
	● 古代文明や宗教のおこり，日本列島における人々の生活の変化，大和政権による統一などについて，さまざまな資料を活用している。
	社会的事象についての知識・理解
	● 古代文明や宗教が生まれたことに加え，古代の人々の生活の変化を理解している。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
8	**章の導入**	● 年表にある事柄や人物，文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ● これから学習する時代に関する写真や年表，絵画などの資料を見て，この時代のイメージを持つ。	● これから学習する時代について関心・意欲を高めている。**（関心・意欲・態度）** ● 資料の読み解きや比較から，この時代の特色を考えようとしている。**（思考・判断・表現）**
9	**1　人類の出現と進化** （p.22～23） 人類の出現 新石器時代	● 人類が進化してきた過程や，人類の特徴を理解する。 ● 土器や石器の発明によって，人々の生活が変化したことを理解する。	● 人類の進化の過程について，その概略を捉えている。**（知識・理解）** ● 旧石器時代と新石器時代の違いについて考察し，変化の結果を適切に表現している。**（思考・判断・表現）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
10	**２　古代文明のおこりと発展　(p.24～25)** 文明のおこり 文明の発展	● 古代文明の特色を，生活技術の発達や文字の使用などを通して理解する。 ● 古代文明がおこった地域の特色について考える。	● 古代文明に関する建造物や文化財に関心を持ち，意欲的に学習している。**(関心・意欲・態度)** ● 文字や金属器の使用など，古代文明の共通点について考察し，その結果を適切に表現している。**(思考・判断・表現)**
11	**３　中国文明の発展　(p.26～27)** 中国文明の発生 統一帝国の成立	● 中国の古代文明の特色を，具体的な資料を通して理解する。 ● 中国の古代文明が日本に与えた影響について考える。	● 資料を活用して，中国から日本へ伝わった文物の特色について考察している。**(思考・判断・表現)** ● 中国の古代文明について，殷から漢までの大きな流れを理解している。**(知識・理解)**
12	**４　ギリシャ・ローマの文明　(p.28～29)** ギリシャの都市国家 ヘレニズム ローマ帝国	● ギリシャ・ローマの文化と政治や社会の仕組みの特色を理解する。 ● ギリシャ・ローマの文明が，現在のヨーロッパ文化と深く結びついていることに気付く。	● ギリシャ・ローマの文明に関心を持ち，意欲的に学習している。**(関心・意欲・態度)** ● 資料を通して，ヘレニズムの文化がインド・中国・日本の美術に影響を与えたことを捉えている。**(技能)**
13	**５　宗教のおこりと三大宗教　(p.30～31)** 宗教のおこり 仏教のおこり キリスト教のおこり イスラム教のおこり	● 古代の宗教のおこりについて，その概略を理解する。 ● 古代の宗教がおこった地域の特色について考える。	● 地図から，古代の宗教がおこった地域と文明地域との重なりに気付いている。**(技能)** ● 仏教，キリスト教，イスラム教の特色を捉えている。**(知識・理解)**

2節　日本列島の誕生と大陸との交流（配当3時間）　＊(2)のイ・ウ

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 国家が形成されていく過程のあらましを，東アジアとの関わり，古墳の広まり，大和政権による統一を通して捉えさせる。	● 古代までの日本列島の人々の生活のあらましに対する関心を高め，意欲的に追究している。
	社会的な思考・判断・表現
	● 縄文時代と弥生時代のちがいについて考察し，その過程や結果を適切に表現している。
	資料活用の技能
	● 小国のおこりから大和政権による統一までの過程を，文献資料，古墳の分布，鉄剣などの資料を通して理解している。 ● 金印や文献資料などから，古代の日本と中国をはじめとする東アジアとの関わりを捉えている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 稲作が伝来した後の社会の仕組みや，人々の生活の変化を理解している。 ● 東アジアとの関わり，古墳の広まり，大和政権による統一など，国家が形成されていったあらましを理解している。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
14	**1　日本列島の誕生と縄文文化**　(p.32～33) 日本列島の誕生 縄文文化	● 日本列島における旧石器時代の人々の生活の様子を具体的に捉える。 ● 縄文時代の人々の生活の様子を，考古学の成果を活用しながら具体的に理解する。	● さまざまな遺物や遺跡の発掘など，考古学の成果に関心を持っている。**（関心・意欲・態度）** ● さまざまな資料から，日本列島で狩猟・採集の生活を行っていた人々の生活の特色について捉えている。**（技能）**
15	**2　弥生文化と邪馬台国**　(p.34～35) 弥生文化の成立 国々の誕生 邪馬台国の女王	● 弥生時代の人々の生活の様子を，考古学の成果を活用しながら具体的に理解する。 ● 日本の国家が形成されていく過程のあらましを，東アジアとの関わりを通して捉える。	● さまざまな遺物や遺跡などから，弥生時代の人々の生活に関心を持ち，意欲的に学習している。**（関心・意欲・態度）** ● 中国の文献などから，国家が形成されていく過程について考察している。**（思考・判断・表現）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
16	**３　大王の時代** （p.36～37） 大和政権の発展 古墳文化 中国・朝鮮半島との交流 大陸文化を伝えた渡来人	● 大和地方を中心に国内が統一されたことを，古墳の広まりを通して理解する。 ● さまざまな資料を通して，日本と中国・朝鮮半島との交流について気付く。	● 大和政権の国内統一の過程を，古墳の分布や鉄剣などの資料を通して捉えている。**（技能）** ● 遺物や遺跡などの具体的な資料を通して，古墳文化の特色を理解している。**（知識・理解）**

3節　古代国家の歩みと東アジア世界（配当10時間）　＊(2)のイ・ウ

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ，その後，天皇・貴族の政治が展開されたことを，聖徳太子の政治，大化の改新から律令国家の確立に至る過程，摂関政治を通して理解させる。 ● 国際的な要素を持った文化が栄え，後に文化の国風化が進んだことを，具体的な事例を通して捉えさせる。	● 天皇・貴族の政治が展開され，国際的な要素を持った文化が後に国風化したことに関心を持ち，意欲的に学習している。
	社会的な思考・判断・表現
	● 聖徳太子の政治から大化の改新を経て確立した律令国家が，どのような政治をねらっていたのか，その特色について考察している。 ● 仏教の影響や文化を担った人々などに着目して，古代の日本において栄えた文化の特色について考察している。
	資料活用の技能
	● 天皇・貴族の政治の展開についてのさまざまな資料を活用して，そのあらましを捉えている。 ● 法隆寺や正倉院の宝物，仮名文字など代表的な事例についてさまざまな資料を活用して，古代の文化の特色を捉えている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 聖徳太子の政治，大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程など，国家の仕組みが整えられ，その後，天皇・貴族の政治が展開されたことを理解している。 ● 大陸の文化を積極的に取り入れた文化が都を中心に栄え，その中から日本的な文化が成立したことを，具体的な事例を通して理解している。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
17	**1　聖徳太子の政治改革** （p.38～39） 聖徳太子の政治 飛鳥文化	● 聖徳太子の政治について理解する。 ● 飛鳥文化の特色を仏教の伝来と関連付けて捉える。	● 聖徳太子の政治や飛鳥文化に関心を持ち，意欲的に学習している。**（関心・意欲・態度）** ● 聖徳太子の政治の目的について考察し，その結果を適切に表現している。**（思考・判断・表現）**
18	**2　大化の改新** （p.40～41） 大化の改新 律令国家への歩み	● 大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を理解する。 ● ７世紀の東アジアの動きを，国内の情勢と関連付けて捉える。	● 大化の改新から律令国家の確立に至るまでの経過を的確にまとめている。**（技能）** ● 大化の改新とその後の政治の展開について理解している。**（知識・理解）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
19	**３　律令国家の成立と平城京　(p.42～43)** 大宝律令 都と国	● 律令の制定，都の造営，地方への支配の広がりなどを通して，古代国家の特色について捉える。 ● 律令制度の内容を通して，古代国家の仕組みを理解する。	● 自分たちが生活している地域の国名・郡名などについて意欲的に調べ，関心を持っている。**（関心・意欲・態度）** ● 平城京について調べ，天皇・貴族の力の大きさや中国の影響について考察している。**（思考・判断・表現）**
20	**４　奈良時代の人々の暮らし　(p.44～45)** 人々の身分と負担 土地の私有と荘園	● 奈良時代の人々の生活の実態について，班田収授法を通して理解する。 ● 律令制度の基盤である公地・公民の制がくずれ始めた理由を考える。	● 資料から貴族と農民の食事や住居を比較し，奈良時代の人々の生活の様子を読み取っている。**（技能）** ● 墾田永年私財法などにより，公地・公民の原則がくずれていった経過を理解している。**（知識・理解）**
21	**５　天平文化　(p.46～47)** 天平文化 奈良時代の仏教と社会 歴史書と万葉集	● 代表的な文化財を通して，天平文化の特色を理解する。 ● 遣唐使の派遣が果たした役割について考える。	● 奈良時代の寺院や仏像に関心を持ち，意欲的に学習している。**（関心・意欲・態度）** ● 天平文化が，仏教や大陸との交流の影響によって生まれたことを理解している。**（知識・理解）**
22	**６　平安京と東アジアの変化　(p.48～49)** 平安京 最澄と空海 東アジアの変化と遣唐使の停止	● 平安遷都の理由・意義や，平安時代初めの政治の特色について理解する。 ● 平安時代の新しい仏教の特色について理解する。	● 唐から伝わったと新しい仏教と奈良時代の仏教との違いについて考察し，その違いを適切に表現している。**（思考・判断・表現）** ● 桓武天皇の政治の目的，内容などについて理解している。**（知識・理解）**
23	**７　摂関政治と文化の国風化　(p.50～53)** 摂関政治	● 藤原氏が行った摂関政治の特色について理解する。 ● 代表的な事例を通して，国風化した文化の特色を理解する。	● 系図などの資料から，藤原氏が摂政や関白の地位を独占した理由を読み取っている。**（技能）** ● 仮名文字の成立や文学作品などから，この時代の文化の特色を理解している。**（知識・理解）**
24	国風文化 浄土信仰 ［歴史スキル・アップ］絵巻物を見てみよう		
－	**［深めよう］現代に受けつがれる神話　(p.58～59)** 「記紀神話」の成立 「記紀神話」の展開 日本の神話と世界の神話 島根県と神話 宮崎県と神話	● 神話に関心を持ち，現在にも伝えられていることに気付く。 ● 神話が，神楽をはじめとした各地の伝統芸能に取り入れられ，受け継がれていることに気付く。	● 日本の神話には世界の神話と似たものがあることや，古代の人々の考え方に気付いている。**（思考・判断・表現）** ● 神話の中に記されている日本の成り立ちについて理解している。**（知識・理解）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
－	［深めよう］考古学のとびら　(p.60) どっちが古いかな？ いつのものなのだろう 年輪の活用	● 当時の様子や年代を調べるさまざまな手法を知り，考古学に関心を持つ。 ● 古代以降の歴史学にも考古学が活用されていることに気付き，歴史学と考古学とが密接に関連していることを理解する。	● 学習した内容を，遺跡調査や文化財の学習などの際に積極的に活用している。（**知識・理解**） ● 放射性炭素年代測定法や年輪年代法の概略を理解している。（**関心・意欲・態度**）
25 26	章のまとめ	● 言語活動を通してこの時代を大観し,時代の特色を捉える。	● 古代の特色をまとめる学習に意欲的に取り組んでいる。（**関心・意欲・態度**） ● 古代の主な人物や人物に関係する事柄を理解している。（**知識・理解**） ● 古代の特色を自分の言葉で表現している。（**思考・判断・表現**）

第３章　中世の日本（配当 15 時間）

◆評価規準の例（章全体）

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 武家政権が誕生して，武士の支配が次第に全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解させる。 ● モンゴルの襲来，日明貿易，琉球の国際的役割など，この時代に東アジア世界と密接な関わりが見られたことや，それが国内の政治に影響をおよぼしたことを理解させる。 ● 畿内を中心とした都市や農村に自治的な仕組みが生まれたというこの時代の大きな変化の原因を，農業をはじめとする諸産業の発達などの視点から考えさせる。 ● 武士や民衆の活力を背景にして生み出された新しい文化の特色を，代表的な事例を取り上げて捉えさせ，その中で現在に結びつくものに関心を持たせる。	● 武家政権の成立と武家社会の発展，諸産業の発達と民衆の成長，東アジア世界との関わりに対する関心を高め，意欲的に学習している。 ● 日本の伝統文化に対する関心を高め，今日に残る中世の文化や文化財を尊重しようとしている。
	社会的な思考・判断・表現
	● 武家政権の成立と武家社会の発展，諸産業の発達と民衆の成長，東アジア世界との関わり，文化の特色などについて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。
	資料活用の技能
	● 中世の政治の展開，経済の発達と社会の変化，文化の広がりに関するさまざまな資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 武家政権の成立と武家社会の発展，諸産業の発達と民衆の成長を，東アジア世界との関わりを背景に理解し，その知識を身につけている。 ● 中世の文化の特色と，その中に現在に結びつくものが見られることに気付き，その知識を身につけている。

1節　武士の台頭と鎌倉幕府（配当6時間）　＊(3)のア・イ

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 平安時代の社会から生まれた武士が次第に力をつけ，鎌倉幕府が成立するに至る経緯のあらましを理解させる。 ● 守護・地頭の設置や承久の乱などを経て幕府の支配が次第に全国に広まったことを理解させ，武家政権の特色を考えさせる。 ● 鎌倉時代の武士の生活や民衆の動きに関心を持たせ，その様子を資料から捉えさせる。 ● 鎌倉時代の文化と仏教に見られる新しい動きを理解させ，当時の社会との関連を考えさせる。	● 武士が台頭し武家政権が成立したことや鎌倉時代の武士や民衆の動きに対する関心を高め，意欲的に学習している。 ● 鎌倉時代の新しい文化と仏教に対する関心を高め，現在との結びつきについて意欲的に学習している。
	社会的な思考・判断・表現
	● 武士が台頭し武家政権が成立して，武士の支配が次第に全国に広まり，武家社会が発展していったという時代の流れを，幕府と朝廷の関係，土地制度の変化などから多面的・多角的に考察している。 ● 鎌倉時代に新しい文化と仏教が生まれたことを，武士や民衆の動きと関連させて多面的・多角的に考察している。
	資料活用の技能
	● 武士が台頭し武家政権が成立したことと，鎌倉時代の武士や民衆の動き，鎌倉文化に関するさまざまな資料を活用している。
	社会的事象についての知識・理解
	● 武士が台頭し武家政権が成立して，武士の支配が次第に全国に広まり武家政権が発展していったことを理解している。 ● 鎌倉時代の新しい文化や仏教の特色を理解している。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
27	**章の導入**	● 年表にある事柄や人物，文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ● これから学習する時代に関する写真や年表，絵画などの資料を見て，この時代のイメージを持ったり，前の時代との違いを予想したりする。	● これから学習する時代について関心・意欲を高めている。**（関心・意欲・態度）** ● 資料の読み解きや比較から，この時代の特色を考えようとしている。**（思考・判断・表現）**
28	**1　武士の成長** （p.66～67） 武士の登場 武士団と荘園	● 武士が次第に勢力を広げたことを，都や地方でおきた戦乱の様子などから理解する。 ● 荘園と公領からなる新しい土地制度の広がりと，武士の成長との関連について考える。	● 武士が成長していったことを，政治の動きと関連付けて考察している。**（思考・判断・表現）** ● 武士の成立過程を，導入資料などから読み取っている。**（技能）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
29	**２　武士の政権の成立** （p. 68～69） 院政と武士 源平の争乱	● 武士が政権をにぎった過程について，平清盛を通して理解する。 ● 院政の特色を，摂関政治と比較して理解する。	● 平氏の政治の特色を，摂関政治との共通点に着目して考察し，その結果を適切に表現している。（**思考・判断・表現**） ● 源義経などの人物を中心に，源平の争いの経過について理解している。（**知識・理解**）
30	**３　鎌倉幕府の成立と執権政治** （p. 70～71） 鎌倉幕府の始まり 執権政治	● 武家政権が東国に生まれ，支配力を広げていった様子を，幕府と朝廷の関係などから理解する。 ● 将軍や執権と御家人の関係に着目して，武家政権の特色を考える。	● 武士の生活や生き方に関心を持ち，意欲的に学習している。（**関心・意欲・態度**） ● 文書資料から，幕府と朝廷との勢力関係，将軍と御家人との関係を読み取っている。（**技能**）
31	**４　武士と民衆の生活** （p. 72～73） 地頭の支配 武士の生活 民衆の動き	● 鎌倉時代の武士の生活の様子を，絵巻物や文書資料などを通して理解する。 ● 農業技術や手工業・商業の発達による生活の向上がもたらした社会の変化について考える。	● 絵巻物などの資料から，武士の生活の様子を読み取っている。（**技能**） ● 鎌倉時代の農業技術や手工業・商業の発達とそれに伴う生活の向上について理解している。（**知識・理解**）
32	**５　鎌倉時代の文化と宗教** （p. 74～75） 鎌倉文化 鎌倉仏教の教え	● 代表的な事例を通して，鎌倉時代の文化の特色を理解する。 ● 鎌倉時代の仏教の特色を理解し，それが広まった理由を考える。	● 鎌倉時代の建築・彫刻・文学作品に関心を持ち，意欲的に学習している。（**関心・意欲・態度**） ● 鎌倉時代の仏教が人々の間に広まったことを，教えの特色や社会の動きと関連させて考察している。（**思考・判断・表現**）

2節　東アジア世界との関わりと社会の変動（配当9時間）　＊(3)のア・イ

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 鎌倉幕府の滅亡，南北朝の動乱，室町幕府の成立，応仁の乱と戦国大名の登場を通して，武家政治の展開を理解させる。 ● 諸産業が発達し都市や農村に自治的な仕組みが生まれるなど，民衆が成長していったことを理解させる。 ● 東アジア世界との関わりをモンゴルの襲来，日明貿易，琉球の国際的役割を通して理解させ，その関わりが中世の日本におよぼした影響を考えさせる。 ● 室町時代の新しい文化の特色を理解させ，現在との結びつきに気付かせる。	● 鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開，経済の発達と社会の変化，室町文化に対する関心を高め，意欲的に学習している。 ● モンゴルの襲来，日明貿易，琉球の国際的役割など，東アジア世界とのつながりに関心を高め，意欲的に学習している。
	社会的な思考・判断・表現
	● モンゴルの襲来や日明貿易が日本の政治や社会に与えた影響について，多面的・多角的に考察している。 ● 自治的な仕組みの発生，武士や民衆の活力を背景にした新しい文化の誕生といった社会の変化を，農業をはじめとする諸産業の発達，政治の動きなどから多面的・多角的に考察している。
	資料活用の技能
	● 鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開，経済の発達と社会の変化，室町文化に関するさまざまな資料を活用している。
	社会的事象についての知識・理解
	● 東アジア世界との関わりを背景に，鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開を理解している。 ● 農業をはじめとする諸産業が発達し，都市や農村に自治的な仕組みが生まれたことや，武士や民衆の活力を背景にした新しい文化が生まれたことを理解している。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
33 34	**1　モンゴルの襲来と日本** **(p.76～77)** モンゴル帝国の拡大 二度の襲来 鎌倉幕府の滅亡	● モンゴル帝国の成立過程について理解する。 ● モンゴル帝国の拡大がユーラシア世界に与えた影響について考える。 ● モンゴル帝国の襲来と日本の対応について理解する。 ● 鎌倉幕府が滅亡した理由を，モンゴル帝国の襲来の影響や社会の変化から考える。	● モンゴル帝国の成立と拡大の様子を，地図などから読み取っている。**(技能)** ● モンゴル帝国の拡大により，ユーラシア世界が一つにまとまるようになったことに気付いている。**(知識・理解)** ● モンゴル帝国の襲来が国内の政治におよぼした影響を，御家人の動きから考察している。**(思考・判断・表現)** ● 絵画資料から，モンゴル軍の特徴を読み取っている。**(技能)**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
35	**２　南北朝の動乱と室町幕府**　(p. 78～79) 南北朝の動乱 室町幕府の発展 守護大名と地方の動き	● 建武の新政から南北朝の動乱に至る経過を理解する。 ● 室町幕府と鎌倉幕府の仕組みを比較して，その特徴を捉える。	● 建武の新政から南北朝の動乱に至る経過や，動乱がもたらした武家社会の変化を考察している。**（思考・判断・表現）** ● 新たな権限を持った守護が守護大名となり，後の政治に影響をおよぼすことに気付いている。**（知識・理解）**
36	**３　東アジアとの交流**　(p. 80～81) 日明貿易 朝鮮との貿易 琉球王国の成立 アイヌ民族の交易	● 東シナ海をはさんだ中国・日本・朝鮮の結びつきや，蝦夷地の動きを捉える。 ● 琉球や蝦夷地の人々の交流や結びつきについて理解する。	● 地図を活用して，日明貿易の様子，琉球の役割，蝦夷地の動きなどを読み取っている。**（技能）** ● 琉球が中継貿易で栄え，中国・朝鮮・東南アジアを結びつけていたことを理解している。**（知識・理解）**
37	**４　産業の発達と民衆の生活**　(p. 82～83) 農業の進歩と手工業の発展 商業の発展と都市の成長 村の自治	● 農業や商業・手工業などが発達し，民衆の力が伸びてきたことを理解する。 ● 畿内を中心に自治的な組織が生まれたことを，土一揆などの様子から捉える。	● 農業や商業・手工業の発達が当時の社会におよぼした影響について考察している。**（思考・判断・表現）** ● 文献資料や碑文などから，民衆の成長の様子を読み取っている。**（技能）**
38	**５　応仁の乱と戦国大名**　(p. 84～85) 応仁の乱 戦国大名の登場と城下町	● 応仁の乱の原因や経過，その後の社会におよぼした影響について理解する。 ● 戦国大名の登場とその支配について，応仁の乱や下剋上の風潮から考える。	● 自分たちが住む地域の戦国大名に関心を持ち，意欲的に学習している。**（関心・意欲・態度）** ● さまざまな資料から，下剋上の風潮が全国に広がったことを読み取っている。**（技能）**
39	**６　室町文化とその広がり**　(p. 86～87) 室町文化 武士の文化の成長 民衆への文化の広がり	● 代表的な文化財を取り上げて，室町時代の文化の特色を理解する。 ● この時代に生まれた文化で，現代に受けつがれているものに関心を持つ。	● 伝統文化に関心を持ち，室町時代に生まれた文化で現代に受けつがれているものに気付いている。**（関心・意欲・態度）** ● 武家文化と公家文化の融合など，室町時代の文化の特色を捉えている。**（知識・理解）**
－	**［深めよう］東アジア世界の朝貢体制と琉球王国**　(p. 92～93) 朝貢ってなに？ 東アジア世界の形成 朝貢体制と室町幕府 琉球王国と朝貢体制	● 中国の朝貢体制を通して，東アジア全体での人やものの交流が生まれたことを理解する。 ● 朝貢体制の中で，発展した琉球王国の成立と繁栄の様子について理解する。	● 中国の朝貢体制によって，「東アジア世界」という大きな世界がつくられたことを理解している。**（知識・理解）** ● 琉球王国の繁栄が貿易立国にあったことに気付いている。**（思考・判断・表現）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
－	［深めよう］室町時代の生活文化と現代　(p.94) 衣 食 住	● 室町時代の文化と現代とのつながりについて，衣食住に着目して考える。 ● 絵画資料から，室町時代の生活文化の特色について理解する。	● 室町時代の生活文化に関心を持ち，意欲的に学習している。（関心・意欲・態度） ● 室町時代に生まれた事象で，現代に受けつがれているものに気付いている。（知識・理解）
40 41	章のまとめ	● 言語活動を通して中世を大観し，時代の特色を捉える。	● 中世と古代を比較する作業学習などを通して，中世の特色をまとめる学習に意欲的に取り組んでいる。（関心・意欲・態度）（技能） ● 中世の主な人物や歴史的事象を理解している。（知識・理解） ● 中世の特色を自分の言葉で表現している。（思考・判断・表現）

第４章　近世の日本（配当 22 時間）

◆評価規準の例（章全体）

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 織田・豊臣および江戸幕府の諸政策を通して新しい安定した社会が生まれ，その社会が長く続いたことを理解させる。 ● ヨーロッパ文化の伝来や東南アジア各地への日本人の渡航などの対外関係が活発な時期から，外国との交渉が限定された時期へと移っていったことを理解させる。 ● 安定した社会が次第に変化し，行き詰まっていく原因について，社会の仕組みや経済の変化などから考えさせる。 ● 産業や交通が著しく発達し，町人文化や各地方の生活文化が形成されていった様子を，今日に残る文化財や史料などから把握させ，文化的遺産を尊重する態度を育てる。	● 近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に対する関心を高め，意欲的に追究している。 ● 武将や豪商の文化，町人文化や各地方の生活文化に対する関心を高め，今日に残る文化的遺産を尊重している。 ● 政治・経済・外交・文化などの面で活躍した近世の人物に対する関心を高め，その生涯や業績を調べている。
	社会的な思考・判断・表現
	● 近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開から課題を見いだし，世界の動きと時代の特色とを関連させて多面的・多角的に考察し，公正に判断している。 ● 産業・交通の著しい発達と政治や文化の動きとの関連を，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。
	資料活用の技能
	● 近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に関する図版，史料，年表，歴史地図などのさまざまな資料を収集するとともに，情報を適切に選択して読み取ったり，図表にまとめたりしている。 ● 近世の日本の動きを政治・経済・外交・文化などの項目に分けて，情報を適切に選択して年表などにまとめている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開を，日本の歴史と関わる世界の歴史を背景に理解し，その知識を身につけている。 ● 産業・交通が著しく発達し，町人文化や各地方の生活文化が形成されていった様子を，身近な地域の歴史的事象との関連で理解し，その知識を身につけている。

1節　ヨーロッパ人との出会いと全国統一（配当 9 時間）　＊(4)のア

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● ヨーロッパ人の来航を，ヨーロッパ社会の変化と関連させて理解させ，鉄砲とキリスト教の伝来，南蛮貿易などが日本に与えた影響を考えさせる。 ● 織田信長と豊臣秀吉による統一事業を理解させ，新しく生み出された近世社会の特色を考えさせる。 ● 楽市･楽座や関所の廃止，検地や刀狩などの諸政策が，どのように中世社会を変え，近世社会を生み出していったのかを理解させる。 ● 東南アジアとの貿易，キリスト教への対応，朝鮮侵略を通して，織田・豊臣の時期の対外関係のあらましを理解させる。 ● 桃山文化の文化財に関心を持たせ，その特色を理解させる。また，南蛮文化の影響，武将や豪商の生活との関連に気付かせる。	● 戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航に対する関心を高め，意欲的に追究している。 ● 織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化と対外関係のあらまし，武将や豪商などの生活文化の展開に対する関心を高め，意欲的に追究している。
	社会的な思考・判断・表現
	● ヨーロッパ文化が日本の社会におよぼした影響を，キリスト教や鉄砲の伝来，南蛮貿易に注目して，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ● 織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化のあらましから課題を見いだし，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。
	資料活用の技能
	● 戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航，織田・豊臣による統一事業と，当時の対外関係や文化に関する図版，史料，年表，歴史地図などのさまざまな資料を収集するとともに，情報を適切に選択して読み取ったり，図表にまとめたりしている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航について理解し，その知識を身につけている。 ● 織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化と対外関係のあらまし，武将や豪商などの生活文化の展開を理解し，その知識を身につけている。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
42	章の導入	● 年表にある事柄や人物，文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ● これから学習する時代に関する写真や年表，絵画などの資料を見て，この時代のイメージをも持ったり，前の時代との違いを予想したりする。	● これから学習する時代について関心・意欲を高めている。**（関心・意欲・態度）** ● 資料の読み解きや比較から，この時代の特色を考えようとしている。**（思考・判断・表現）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
43	**1　キリスト教世界とルネサンス　(p.100～101)** 中世ヨーロッパ ルネサンス 宗教改革	● イスラム教の広がりがヨーロッパに大きな影響を与えたことを，ルネサンスや宗教改革を通して理解する。	● イスラム教の広がりが，十字軍・ルネサンス・宗教改革などにおよぼした影響のあらましを理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**
44	**［深めよう］歴史の中のイスラム文化 (p.136～137)** イスラム教の拡大 イスラム教とヨーロッパ文化 ヨーロッパとアジアの接点	● イスラム教の広がりの様子を理解する。 ● イスラム文化がヨーロッパ社会に与えた影響について考える。	● イスラム文化がどのように現代の文化と関係しているかを考察している。**（思考・判断・表現）** ● 世界の結び付きにおいて，ムスリム商人の果たした役割について気付いている。**（知識・理解）**
45	**2　ヨーロッパと外の世界　(p.102～103)** 大航海時代 ポルトガルとスペイン アメリカの植民地化 オランダの台頭	● ヨーロッパ人が海外に進出した目的を，主にアジアとの関係から考える。 ● ヨーロッパの世界進出の影響について，アメリカ大陸とアフリカ大陸を中心に考える。	● 「16 世紀ごろの世界」から，スペイン・ポルトガルの世界進出や世界の一体化を読み取るなど，歴史地図を活用している。**（技能）** ● ヨーロッパの世界進出がアメリカ大陸やアフリカ大陸におよぼした影響について考察し，その過程や結果を説明している。**（思考・判断・表現）**
46	**3　ヨーロッパ人との出会い　(p.104～105)** 鉄砲の伝来 キリスト教の伝来と南蛮貿易 キリスト教の広まり	● 南蛮人が日本にもたらしたものについて，図版から読み取る。 ● この時代に伝わった鉄砲とキリスト教が，日本の社会に広まった様子を捉える。	● 「南蛮人渡来図屏風」などに描かれたものを読み取り，南蛮貿易やキリスト教の広がりの理解に活用している。**（技能）** ● 鉄砲とキリスト教の伝来，南蛮貿易が日本の社会におよぼした影響について，考察し，説明している。**（思考・判断・表現）**
47 48	**4　織田信長・豊臣秀吉による統一事業　(p.106～107)** 織田信長の統一事業 豊臣秀吉の統一事業 宣教師の追放	● 織田信長と豊臣秀吉の統一事業の過程を地図資料などから理解する。 ● 信長の経済政策，秀吉の宗教政策の影響について当時の法令から理解する。	● 信長と秀吉による統一事業の過程やその政策のあらましを理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）** ● 信長の経済政策が商業の発達にどのような影響を与えたかを考察し，説明している。**（思考・判断・表現）**
49	**5　兵農分離と朝鮮侵略　(p.108～109)** 検地と刀狩 海外貿易と朝鮮侵略	● 太閤検地と刀狩によって，社会がどのように変化したかを考える。 ● 朝鮮侵略のあらましと，その後の日本に与えた影響を理解する。	● 兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化したかを，中世の社会と比較して考察し，説明している。**（思考・判断・表現）** ● 朝鮮侵略の過程とその影響を資料から読み取っている。**（技能）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
50	**６　桃山文化** （p.110～111） 豪華で壮大な文化 ヨーロッパ文化の影響	● 桃山文化の特色を建築・絵画・芸能などから理解し，その特色が生まれた理由を考える。 ● ヨーロッパ人の来航によって生まれた文化の様子と，その影響を理解する。	● 桃山文化の特色を，生活に根ざした文化の広がりや武将・豪商の経済力，中世の文化の継承などの視点から考察し，適切に表現している。（**思考・判断・表現**） ● ヨーロッパ人の来航によって生まれた新しい文化について理解し，その知識を身につけている。（**知識・理解**）

2節　江戸幕府の成立と鎖国（配当4時間）　＊(4)のイ

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 江戸幕府の成立の経緯と政治制度のあらまし，幕府による大名や朝廷の統制政策を理解させる。 ● 江戸時代の身分制度と武士・百姓・町人の暮らしに関心を持たせ，身分による厳しい差別があった理由を考えさせる。 ● 貿易の振興から鎖国へと対外政策が変化したことと，それが国内政治に与えた影響を理解させる。 ● 鎖国下の貿易，朝鮮との交流や琉球の役割，アイヌの人々の生活に関心を持たせ，鎖国下の対外関係を理解させる。	● 江戸幕府の政治，身分によって異なる人々の暮らし，鎖国下の対外関係に対する関心を高め，意欲的に追究している。
	社会的な思考・判断・表現
	● 江戸幕府の成立と大名統制，鎖国政策，身分制度の確立および農村の様子，鎖国下の対外関係から課題を見いだし，江戸幕府の政治の特色を多面的・多角的に考察し，公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。
	資料活用の技能
	● 江戸幕府の成立と大名統制，鎖国政策，身分制度の確立に関する史料，年表などのさまざまな資料を収集するとともに，情報を適切に選択して読み取ったり，図表にまとめたりしている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 江戸幕府の成立と大名統制，鎖国政策，身分制度の確立および農村の様子，鎖国下の対外関係を理解し，その知識を身につけている。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
51	**1　江戸幕府の成立と支配の仕組み　(p.112～113)** 江戸幕府の成立 幕藩体制の確立 大名や朝廷の統制	● 260 年余りも続く平和な時代がどのようにして生まれたかについて関心を持つ。 ● 江戸時代の政治制度のあらましと，幕府による大名や朝廷の統制について，大名配置や武家諸法度などの資料から理解する。	● 260 年余りも続く平和な時代がどのようにして生まれたのかに関心を持ち，意欲的に追究している。**（関心・意欲・態度）** ● 「主な大名の配置」から大名統制の方法を読み取るなど，歴史地図を活用している。**（技能）**
52	**2　さまざまな身分と暮らし　(p.114～115)** 武士と町人 村と百姓 厳しい身分による差別	● 江戸時代の身分制度と武士，百姓，町人それぞれの職分や生活の様子を理解する。 ● 百姓や町人とは別に，差別された身分の人々がいたことの意味について考える。	● 「身分別の人口の割合」「都市の農村の支配の仕組み」などから，江戸時代の身分とそれぞれの職分や自治の様子を調べてまとめている。**（技能）** ● 江戸時代に確立した身分制度の中での差別が，近代や現代にも残っていくことに関心を持ち，差別を許さないという態度を身につけている。**（関心・意欲・態度）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
53	**３　貿易の振興から鎖国へ** （p.116～117） 朱印船貿易と日本町 禁教と貿易統制の強化 島原・天草一揆と鎖国	● 江戸幕府の対外政策の変化について年表などから調べ，貿易の振興から鎖国へと方針を変えた理由を考える。 ● 島原・天草一揆以後に幕府がとった対策とその影響を理解させる。	● 江戸幕府が 17 世紀の前半に対外政策を変化させて「鎖国」した理由を，宗教の統制，外交と貿易の統制，大名の統制などから考察し，説明している。**（思考・判断・表現）** ● 島原・天草一揆以後に幕府がとった対策と，それが人々の生活に与えた影響を理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**
54	**４　鎖国下の対外政策** （p.118～119） 中国とオランダ 朝鮮と琉球王国 アイヌ民族との交易	● 長崎でのオランダ・中国との交易，朝鮮との交流，琉球やアイヌの人々との関係について理解する。 ● 海産物などを交易しながら独自の文化を築いていたアイヌの人々の生活に関心を持つ。	● 鎖国下の日本と外国との対外関係について，白地図などに分かりやすくまとめている。**（技能）** ● アイヌの人々の生活に対する関心を高め，現在に残る文化を大切にしようとしている。**（関心・意欲・態度）**

3節　産業の発達と幕府政治の動き（配当9時間）　＊(4)のウ・エ

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 身近な地域の特色を生かした事例を選んで，農業をはじめとする諸産業の発達の様子を理解させ，それらが発達した理由を考えさせる。 ● はなやかな町人文化や地方の生活文化に関心を持たせ，このような文化が広がった背景を理解させる。 ● 幕府による代表的な政治改革を取り上げて主な内容を理解させるとともに，改革が必要になった理由とその結果を考えさせる。 ● 江戸時代における学問の発達を理解させ，その中に新しい時代を切り開く動きが見られることに気付かせる。	● 産業・交通の発達，教育の普及，町人文化や地方の生活文化に対する関心を高め，身近な地域の特色を生かした事例を取り上げ，意欲的に追究している。 ● 江戸幕府の政治改革と政治の行き詰まりや，新しい学問・思想の動きに対する関心を高め，意欲的に追究している。
	社会的な思考・判断・表現
	● 産業・交通の発達，江戸幕府の政治改革と政治の行き詰まり，新しい学問・思想の動きから課題を見いだし，時代の特色と変化を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ● 江戸時代の文化の特色とそれを生み出した社会との関係を，文化とその担い手の関連などに注目して多面的･多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。
	資料活用の技能
	● 産業・交通の発達，教育の普及，町人文化や地方の生活文化，江戸幕府の政治改革と政治の行き詰まり，新しい学問・思想の動きに関する図版，グラフ，史料，年表，歴史地図などのさまざまな資料を収集するとともに，情報を適切に選択して読み取ったり，図表にまとめたりしている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 産業・交通の発達，教育の普及，文化の特色を，身近な地域の歴史的事象に関連させて理解し，その知識を身につけている。 ● 外国船の接近や幕府の政治改革，新しい学問・思想の動きなどを通して，幕府政治が次第に行き詰まっていったことを理解し，その知識を身につけている。

◆評価規準の例（各時間ごと）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
55	**1　農業や諸産業の発達** （p.120～121） 農業の進歩 諸産業の発達	● 農業の進歩や諸産業の発達の様子を調べ，そのあらましを理解する。 ● 全国各地に特産物の生産がみられることを，資料から理解する。	● 江戸時代の産業の様子について関心を高め，身近な地域の郷土資料館などを利用して意欲的に調べている。**（関心・意欲・態度）** ● 諸産業が発達し，各地に特産物がみられるようになった理由を江戸の発展などと関連させて考察し，まとめている。**（思考・判断・表現）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
56	**２　交通路の整備と都市の繁栄　(p.122～123)** 交通路の整備 三都の繁栄	● 交通の発達や三都をはじめとする都市が発達したことを理解する。	● 江戸時代に交通や都市が発達した理由を，幕府や藩の政治の仕組み，物資の流通などから考察し，説明している。**（思考・判断・表現）** ● 産業，交通の発達によって貨幣経済が進展し，財力をつけた町人の力が増していったことを理解している。**（知識・理解）**
57	**３　幕府政治の安定と元禄文化　(p.124～125)** 綱吉の政治と正徳の治 元禄の学問と文化	● 徳川綱吉の政治の特色を理解する。 ● 文学や浮世絵の作品などからこの時期の文化の特色を理解する。	● 徳川綱吉の政治がそれまでの武断政治から文治政治へと転換したことを理解している。**（知識・理解）** ● 文学作品や「見返り美人図」などから，元禄文化の特色を読み取っている。**（技能）**
58	**４　享保の改革と社会の変化　(p.126～127)** 享保の改革 貨幣経済の広がり 百姓一揆と差別の強化	● 徳川吉宗の政治改革の様子を図版や資料から理解する。 ● 幕藩体制の基盤がゆらぎ，百姓一揆が起きたことや，その中で差別が強化されたことを理解する。	● 徳川吉宗の政治改革について調べ，そのあらましを理解している。**（知識・理解）** ● 「百姓一揆・打ちこわしの発生件数」から社会の様子と変化を説明できるなど，グラフを活用している。**（技能）**
59	**５　田沼の政治と寛政の改革　(p.128～129)** 田沼の政治 寛政の改革 財政難に苦しむ諸藩	● 田沼意次の政治と松平定信の政治を比較し，目的・方法などについて共通点と相違点を考える。 ● ロシアの接近に対する幕府の外交政策を，間宮林蔵らの北方探検を通して理解させる。	● 田沼意次の政治と松平定信の政治を比較し，財政政策の違いなどについて考察し，説明している。**（思考・判断・表現）** ● 「北方探検」を基に，蝦夷や樺太の探検が行われたことを知り，幕府の対外関係のあり方を理解している。**（知識・理解）**
60	**６　新しい学問と化政文化　(p.130～131)** 国学と蘭学 化政文化 教育の広がり	● 国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ，社会の動きとの関連を考える。 ● 寺子屋や藩校が各地に設けられたことを通して，教育への関心が高まってきたことを理解する。	● 国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ，新しい学問や文化が生まれた背景を考察し，説明している。**（思考・判断・表現）** ● 「藩校と寺子屋の広がり」を基に全国に教育施設がつくられていったことを読み取っている。**（技能）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
61	**7　外国船の出現と天保の改革　(p.132～133)** 異国船打払令と大塩の乱 天保の改革 雄藩の成長	● 外国船の接近とそれに対する幕府の対応について資料から理解する。 ● 大塩の乱，天保の改革について調べ，幕府政治にどのような変化が見られたのかを考える。	● 外国船の接近とそれに対する幕府の対応についてまとめ，幕府に新たな課題が生じたことを理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）** ● 大塩平八郎が乱を起こした理由や天保の改革の内容を調べ，幕府政治が行き詰まっていったことについて考察し，その過程や結果を説明している。**（思考・判断・表現）**
–	**［深めよう］江戸のエコ社会　(p.138)** 着物や生活用品のリサイクル リサイクル商品としての肥料	● 近世の江戸の様子について調べ，江戸時代の人々の生活について理解する。 ● 江戸で行われていたさまざまなリサイクルから，現代の生活でも実践できる内容を考える。	● 「古傘買い」，「灰買い」，「馬でし尿を集めに来た農民」から，どのようなリサイクルが行われたか読み取っている。**（技能）** ● 江戸時代の人々の生活について理解し，現在の生活に生かせる点を考察し，まとめている。**（思考・判断・表現）**
62 63	**章のまとめ**	● 言語活動を通してこの時代を大観し，時代の特色を捉える。	● この時代の特色をまとめる作業学習に取り組んだり，「ディスカッション」を通して，話し合いに積極的に参加したりしている。**（関心・意欲・態度）（技能）** ● この時代の主な人物や歴史的事象を理解している。**（知識・理解）** ● この時代の特色を自分の言葉で表現している。**（思考・判断・表現）**

第５章　開国と近代日本の歩み（配当 25 時間）

◆評価規準の例（章全体）

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。 ● 明治新政府による改革の特色を考えさせ，明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ● 立憲制国家が成立して議会政治が始まり，日本の国際的地位が向上したことを理解させる。 ● 日本で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解させる。	● 近代日本が形成されていく過程に関心を高め，欧米諸国との関わりに留意しながら，意欲的に追究している。
	社会的な思考・判断・表現
	● 近代日本が形成されていく過程を，国際情勢や国内の動きから多面的･多角的に考察し，公正に判断して適切に表現している。
	資料活用の技能
	● 近代日本が成立していく過程を，図版，史料，年表，歴史地図などの近代に関するさまざまな資料を活用し，追究した結果を読み取ったりまとめたりしている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 開国から明治維新を経て近代国家を形成していく過程を，欧米諸国の歴史を背景に理解し，その知識を身につけている。 ● 日本の国際的地位が向上したことや近代産業が発展したこと，近代文化が形成されたことを理解し，その知識を身につけている。

1節　欧米の進出と日本の開国（配当9時間）　＊(5)のア・イ

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 欧米諸国のアジア進出を近代革命，産業革命，アジア諸国の動きなどを通して理解させる。 ● 開国から江戸幕府滅亡までの過程を，欧米諸国の動きと関連させて理解させる。 ● 開国の影響とその後の幕府政治の推移について多面的・多角的に考えさせる。	● 欧米諸国の近代革命や産業革命に関心を持ち，近代国家の成立やその後のアジア諸国への大きな影響について，意欲的に追究している。 ● 開国の影響から江戸幕府滅亡までの過程について関心を高め，意欲的に追究している。
	社会的な思考・判断・表現
	● ヨーロッパのアジア侵略について，その理由や背景を多面的・多角的に考察して公正に判断し，適切に表現している。 ● 開国の影響とその後の幕府政治の推移について，政治面・経済面・社会面から考察して公正に判断し，適切に表現している。
	資料活用の技能
	● 欧米諸国とアジア諸国の動きについて，資料を収集して読み取ったり，年表にまとめたりしている。 ● 開国の影響とその後の幕府政治の推移について，追究し考察した過程や結果をまとめている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出していった経過を理解し，その知識を身につけている。 ● 開国から江戸幕府滅亡までの経緯を理解し，その知識を身につけている。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
64	章の導入	● 年表にある事柄や人物，文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ● これから学習する時代に関する写真や年表，絵画などの資料を見て，この時代のイメージを持ったり，前の時代との違いを予想したりする。	● これから学習する時代について関心・意欲を高めている。**（関心・意欲・態度）** ● 資料の読み解きや比較から，この時代の特色を考えようとしている。**（思考・判断・表現）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
65	**１　近代革命の時代** （p.144～147） ヨーロッパの動向 イギリス革命 アメリカ合衆国の独立 啓蒙思想	● 欧米諸国が，近代革命を通して近代国家を形成していった過程を理解する。 ● 欧米諸国の近代社会の成立の様子に関心を持ち，資料を活用して調べる。	● 欧米諸国の近代化への成立の様子に興味を持ち，意欲的に追究している。**（関心・意欲・態度）** ● 欧米諸国が近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**
66	フランスの絶対王政 フランス革命		
67	**２　産業革命と 19 世紀のヨーロッパ** （p.148～149） 産業革命 資本主義と社会主義 19 世紀のイギリスとドイツ	● 産業革命を経て，産業や社会の仕組みが大きく変化したことを理解する。 ● 革命の時代を経て，近代国家を確立する動きがヨーロッパ諸国に広がっていく過程に気付く。	● 産業革命を経て，産業や社会の仕組みが大きく変化したことを多面的・多角的に考察し，適切に表現している。**（思考・判断・表現）** ● 革命の時代を経て近代国家を確立する動きがヨーロッパ諸国に広がっていく過程を理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**
68	**３　ロシアとアメリカの発展**　（p.150～151） ロシアの拡大 アメリカ合衆国の成長	● ロシアとアメリカ合衆国が発展する過程で，さまざまな問題を抱えていたことを理解する。 ● ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し，発展していく過程に気付く。	● アメリカ合衆国成長の一方で，先住民の強制移住や黒人への人種差別などの問題があったことを多面的・多角的に考察し，適切に表現している。**（思考・判断・表現）** ● ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し，発展していく過程を理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**
69	**４　ヨーロッパのアジア侵略**　（p.152～153） ヨーロッパとアジアの力関係 アヘン戦争と中国の半植民地化 インドの植民地化	● イギリスを中心とするヨーロッパ諸国が，工業製品の市場や原料の供給地を求めてアジア侵略を進めた過程を理解する。 ● ヨーロッパのアジア侵略とそれに対するアジア諸国の動きを多面的・多角的に考える。	● ヨーロッパ諸国のアジア侵略について，その理由や背景を考察し，表現している。**（思考・判断・表現）** ● ヨーロッパのアジア侵略に対するアジア諸国の対応を，グラフや地図から読み取り，年表にまとめている。**（技能）**
70	**５　開国と不平等条約** （p.154～155） ペリーの来航 不平等な通商条約	● ペリー来航から日米修好通商条約の締結に至る過程を調べ，条約の内容を理解する。	● ペリー来航から日米修好通商条約の締結に至る過程を調べ，適切に表現している。**（思考・判断・表現）** ● 条約の内容や不平等な点を理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
71	**６　尊王攘夷運動と開国の影響　（p.156～157）** 尊王攘夷運動の高まり 開国の経済的影響 世直し一揆とええじゃないか	● 対外政策を転換して開国したことや，開国したことによる国内への影響について，資料を使って考える。	● 尊王攘夷運動の高まりや開国の影響を調べ，開国によって日本が資本主義社会へ組み込まれていったことを考察し，適切に表現している。**（思考・判断・表現）** ● 開国の経済的影響を人々の生活との関わりから理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**
72	**７　江戸幕府の滅亡　（p.158～159）** 倒幕への動き 大政奉還と王政復古	● 倒幕への動きや幕府の対応，外国の動きなどを調べ，江戸幕府の滅亡までの経緯をまとめる。 ● 開国による政治的・社会的な影響に触れ，それが倒幕の動きを生み出したことに気付く。	● 開国の影響とその後の幕府政治の推移について，政治面・社会面から考察し，公正に判断し表現している。**（思考・判断・表現）** ● 開国の影響とその後の幕府政治の推移について，資料を収集し，読み取ったりまとめたりしている。**（技能）**

2節　明治維新（配当8時間）　＊(5)のイ・ウ

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 明治新政府の諸改革の特色を考えさせる。 ● 明治維新によって近代国家の基礎が整えられ，人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ● 立憲制国家が成立して日本の国際的地位が向上したことを理解させる。	● 明治維新の経緯や改革の内容，人々の生活の変化に対して関心を高め，意欲的に追究している。
	社会的な思考・判断・表現
	● 新政府の諸改革の特色を，多面的･多角的に考察し，公正に判断して適切に表現している。 ● 自由民権運動から憲法制定までの時期について，多面的・多角的に考察し，適切に表現している。
	資料活用の技能
	● 富国強兵・殖産興業政策，文明開化などを通して，人々の生活が大きく変化したことを江戸時代と比較してまとめている。 ● 自由民権運動，憲法の制定について，適切な資料から読み取ったりまとめたりしている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 明治維新によって近代国家の基礎が整えられ，人々の生活が大きく変化したことを理解し，その知識を身につけている。 ● 日本で議会政治が始まるとともに，日本の国際的地位が向上したことを理解し，その知識を身につけている。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
73	**1　新政府の成立** （p.160～161） 明治維新 藩から県へ 身分制度の廃止	● 新政府の方針や諸改革の内容を調べ，中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。 ● 身分制度の廃止の意義と問題点について考える。	● 明治維新の経緯に対する関心を高め，意欲的に追究している。**（関心・意欲・態度）** ● 新政府ができ，中央集権国家の体制が確立していったことを理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**
74 75	**2　明治維新の三大改革** （p.162～163） 三大改革 学制の公布 徴兵令 地租改正	● 新政府が行った学制・兵制・税制の改革の具体的な内容を理解する。 ● 諸改革が人々へもたらした影響について考える。	● 新政府が行った学制・兵制・税制の改革を，江戸時代の制度と比較しながら考察し，公正に判断し表現している。**（思考・判断・表現）** ● 学制・兵制・税制の改革の内容を理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
76	**３　富国強兵と文明開化** （p.164～165） 富国強兵 殖産興業政策 文明開化 新しい思想	● 新政府が行った富国強兵・殖産興業政策の具体的な内容を理解する。 ● 文明開化など欧米文化が流入したことによって，人々の生活が大きく変化したことに気付く。	● 近代的な産業発展のため政府が進めた富国強兵・殖産興業政策の内容を理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）** ● 文明開化など欧米文化の流入によって，人々の生活が大きく変化したことを江戸時代と比較しながらまとめている。**（技能）**
77	**４　近代的な国際関係** （p.166～167） ぶつかる二つの国際関係 岩倉使節団 清や朝鮮との関係	● 岩倉使節団の目的と帰国後の近代化への影響，明治初期の外交政策について考える。 ● 近代的な国際関係の下で進められた，明治初期の外交政策を理解する。	● 新政府が行った外交政策について，欧米諸国やアジア諸国の視点から考察し，公正に判断し表現している。**（思考・判断・表現）** ● 新政府が行った岩倉使節団派遣や，清や朝鮮への外交政策を理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**
78	**５　国境と領土の確定** （p.168～169） 国境と領土の確定 北海道の開拓とアイヌの人々 沖縄県の設置と琉球の人々	● 領土の確定について，近代的な国際関係の下で新政府が行った外交政策を理解する。 ● 北海道の開拓と産業の関係，沖縄県成立の過程での中国の関係について考える。	● 国境と領土の確定について，地図を使って的確にまとめている。**（技能）** ● 国境と領土の確定について，北海道や沖縄などに対して新政府が行った政策を理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**
79	**６　自由民権運動の高まり** （p.170～171） 自由民権運動と士族の反乱 高まる自由民権運動 国会の開設をめぐる対立	● 自由民権運動が始まった経緯や，改革への不満から士族の反乱が起きた過程を理解する。 ● 自由民権運動の高まりを政党の結成や憲法草案などの資料から考える。	● 自由民権運動から憲法制定に至るまでの時期について，民権側と政府側の立場からそれぞれの主張を考察している。**（思考・判断・表現）** ● 自由民権運動のおこりや全国的な広まりの過程を理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**
80	**７　立憲制国家の成立** （p.172～173） 憲法の準備 立憲制国家の成立 帝国議会の開設	● 政府が主導した憲法制定の過程を調べ，憲法の特色を理解する。 ● 憲法に基づいて議会政治が始まり，立憲制国家が成立したことを捉える。	● 憲法制定過程，選挙制度について，資料から読み取ったりまとめたりしている。**（技能）** ● アジアで最初の立憲制国家が成立したことに気付き，憲法の特色や近代国家の基礎が整えられたことを理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**

3節　日清・日露戦争と近代産業（配当8時間）　＊(5)のウ・エ

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 日本で近代産業が発展したことを，大陸との関係や国内外の反応，韓国の植民地化などから理解させる。 ● 近代文化が形成されたことを，学問や科学の分野で国際的な業績が生まれたことから理解させる。	● 19世紀後半の国際関係に興味を持ち，関連付けながら日清・日露戦争の起こった理由を意欲的に追究している。
	社会的な思考・判断・表現
	● 日清・日露戦争における欧米諸国の利害関係や国内の様子，戦争の影響について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。
	資料活用の技能
	● 日清戦争から韓国の植民地化までの日本の動きを年表などにまとめている。 ● 国民生活の変化や学問・教育・科学・芸術の発展などに関して資料から調べ，読み取ったりまとめたりしている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 日本と大陸との関係のあらましを，日清・日露戦争，条約改正を通して理解し，その知識を身につけている。 ● 近代文化の形成を，学問・教育・科学・芸術などの発展から理解し，その知識を身につけている。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
81	**1　欧米列強の侵略と条約改正　(p.174～175)** 列強と帝国主義 条約改正の実現 東アジアの情勢	● 日清戦争に至るまでの背景としての欧米諸国の植民地獲得競争に気付き，東アジアの情勢を理解する。 ● 条約改正に至るまでの過程を調べ，欧米諸国と対等な外交関係を樹立するための人々の努力に関心を持つ。	● 条約改正に至るまでの過程について，人々の努力があったことや国際情勢と関連させながら関心を持って意欲的に追究している。**（関心・意欲・態度）** ● 日清戦争に至るまでの背景としての欧米諸国の植民地獲得競争に気付き，東アジアの情勢を理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**
82	**2　日清戦争 (p.176～177)** **日清戦争** 三国干渉と加速する中国侵略 日清戦争後の日本	● 日清戦争の原因と結果，その後の国内外の情勢を理解する。 ● 下関条約の内容に関心を持ち，戦後のアジアの国際関係や国内情勢について考える。	● 日清戦争から三国干渉までの経過を年表にまとめている。**（技能）** ● 日清戦争の原因と結果，その後の国内外の情勢を理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
83	**３　日露戦争**（p.178～179） 義和団事件 日露戦争 日露戦争後の日本	● ロシアやイギリスの動向と日本との関係に着目し，日露戦争の原因と結果，その影響について理解する。 ● 日露戦争について，戦争の規模や国内外の反応をさまざまな角度から考える。	● 日露戦争について，国際関係での日本の立場の面と，国内の反応の面から考察し，表現している。**（思考・判断・表現）** ● 日本を取り巻く，当時の国際関係について，資料から読み取った結果をまとめている。**（技能）**
84	**４　韓国と中国** （p.180～181） 韓国の植民地化 満鉄の設立 中華民国の成立	● 日本による韓国の植民地化の進展のあらましを理解し，その影響について考える。 ● 中華民国が建国されるまでの過程を，辛亥革命の発生や，列強の支配と中国国内の民族的自覚の高まりから考える。	● 韓国の植民地化の動きを，抵抗運動，土地問題，教育の面から多面的・多角的に考察し，表現している。**（思考・判断・表現）** ● 韓国の植民地化の進展や中国国内の様子を理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**
85	**５　産業革命の進展** （p.182～183） 産業の発展 交通の発達 資本家と労働者 地主と小作人	● 産業革命によって，都市や農山漁村の生活が大きく変化したことを理解する。 ● 資本主義の発展とともに生活の向上が見られた一方で，労働問題や社会問題が発生したことに気付く。	● 産業革命で人々の生活が変化したことに関心を持つとともに，労働問題や社会問題が発生している点にも気付き，意欲的に追究している。**（関心・意欲・態度）** ● 鉄道の広がりや産業の発展を，地図やグラフを使って調べ，まとめている。**（技能）**
86	**６　近代文化の形成** （p.184～185） 日本の美と欧米の美 新しい文章 学校教育の普及	● 近代文化の形成を，学問や科学の分野で国際的な業績が生まれたことや教育の普及から理解する。 ● 近代文化は，伝統的な文化の上に，欧米文化を受容して形成されたものであることに気付く。	● 明治時代の文化について関心を持ち，その内容や人々の業績を意欲的に追究している。**（関心・意欲・態度）** ● 近代文化が形成されたことを，学問・教育・科学・芸術の発展を通して理解し，その知識を身につけている。**（知識・理解）**
－	**［深めよう］「解放令」から水平社へ**　（p.190～191） 「解放令」とその後 部落改善運動の始まり 島崎藤村の「破戒」	● 「解放令」の後，被差別部落の生活がむしろ厳しくなっていることを理解する。 ● 生活の貧困化を克服するために，「部落改善運動」が展開されるが，これに対する反発が，後の水平社創立につながることを理解する。	● なぜ生活が厳しくなったのか，その背景について考え，意欲的に追求している。**（関心・意欲・態度）** ● 「部落改善運動」の内容について理解している。**（知識・理解）** ● 「部落改善運動」の功罪について意欲的に追求している。**（関心・意欲・態度）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
－	**［深めよう］足尾銅山と田中正造**　(p.192) 足尾銅山の鉱毒被害 田中正造と鉱毒問題 解決への取り組み	● 工業の発達に伴って公害問題が発生したことに気付く。 ● 鉱毒問題が社会問題となったことや問題解決の取り組みについて理解する。	● 足尾銅山鉱毒事件が社会問題となったことに関心を持ち，内容や影響について意欲的に追究している。**（関心・意欲・態度）** ● 問題解決の取り組みについて，田中正造の行動と政府の動きを調べ，まとめている。**（技能）**
87 88	**章のまとめ**	● 言語活動を通して主に明治時代を大観し，時代の特色を捉える。	● 主に明治時代の特色をまとめる学習に意欲的に取り組んでいる。**（関心・意欲・態度）** ● 主に明治時代の人物や歴史的事象を理解している。**（知識・理解）** ● 主に明治時代の特色を自分の言葉で表現している。**（思考・判断・表現）**

第 6 章　二度の世界大戦と日本（配当 19 時間）

◆評価規準の例（章全体）

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 第一次世界大戦前後の国際情勢を背景に，日本の国際的地位の変化や大正時代の政党政治の発達，民主主義思想の普及，社会運動の動きを通して日本国民の政治的自覚が高まったことを理解させる。 ● 昭和初期から第二次世界大戦終結までの日本の政治・経済・外交の動きなどを，東アジア諸国との関係や欧米諸国の動きに着目させながら，経済の混乱，軍部の台頭，戦争の経緯と大戦の惨禍を理解させる。 ● 戦時下の国民生活をなるべく身近に感じさせるとともに，戦争の惨禍にも目を向けさせ，関心や態度を養う。	● 二度の世界大戦について関心を持ち，なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて，追究する態度を身につけている。 ● 戦争体験者など，当時を知っている方々に話を聞く機会を，意欲的に利用しようとしている。
	社会的な思考・判断・表現
	● 各国の動きについて，公正に判断し，自分の意見を述べている。 ● 日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え，当時の日本のとるべき道を判断し，自分の意見を述べている。
	資料活用の技能
	● 表やグラフなどを用いて，客観的な統計から，当時の情勢を読み取っている。 ● 写真や日記，記録などの資料を活用し，当時の国民の生活の様子を読み取っている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 二度の世界大戦とその間の出来事について，世界の動きと関連させながら，概要を理解している。 ● 二度の世界大戦のころの日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し，知識を身につけている。

1節　第一次世界大戦と日本（配当8時間）　＊(5)のオ

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 第一次世界大戦の原因や概要について理解させ，帝国主義などの背景や現在まで続く民族問題についても関心を持たせる。 ● 日本の大正時代の様子について，大正デモクラシーや多くの民衆運動を，調べたり考えたりして理解させる。	● 第一次世界大戦の原因や，現在まで続く民族問題に関心を持っている。 ● 多くの民衆運動が起こった背景について，調べたり考えたりしている。
	社会的な思考・判断・表現
	● 第一次世界大戦の背景を，帝国主義などの考えを基にして説明している。 ● 大正デモクラシーを現代の民主主義と比較して考え，自分の意見を述べている。
	資料活用の技能
	● 「第一次世界大戦中のヨーロッパ戦線」などを用いて，第一次世界大戦の広がりを読み取っている。 ● 「有権者数の増加」などを用いて，民衆運動の動きを読み取っている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 第一次世界大戦の概要を，原因・経過・結果から理解し，その知識を身につけている。 ● 大正時代の政治・経済・社会・文化のあらましを理解し，その知識を身につけている。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
89	**章の導入**	● 年表にある事柄や人物，文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ● これから学習する時代に関する写真や年表，絵画などの資料を見て，この時代のイメージを持ったり，世界との関わりを予想したりする。	● これから学習する時代について関心・意欲を高めている。**（関心・意欲・態度）** ● 資料の読み解きや比較から，これから学習する時代の特色を考えようとしている。**（思考・判断・表現）**
90	**1　第一次世界大戦** （p.198～199） 列強の動向 第一次世界大戦 総力戦とその結果	● 第一次世界大戦を，起こった背景，経過，被害などを通して理解する。 ● 戦争と国民生活について話し合う。	● 戦争がもたらす悲惨な結果について関心を持っている。**（関心・意欲・態度）** ● 第一次世界大戦の原因・経過・結果から，戦争の概要を理解している。**（知識・理解）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
91	**２　ロシア革命** （p. 200～201） ロシア革命 ソ連の成立 独裁と計画経済	● ロシア革命の背景と経過とその後のロシアの歩みについて理解する。 ● ロシア革命について，当時の状況を考え，話し合う。	● ロシア革命の原因と経過，また計画経済について概要を理解している。（**知識・理解**） ● ロシア革命に対する日本の動きを調べ，ロシア革命の様子から，自分の考えを述べている。（**思考・判断・表現**）
92	**３　国際協調の高まり** （p. 202～203） ベルサイユ条約と国際連盟 国際協調の時代 大衆の時代	● 国際連盟の特色を，世界平和と国際協調の面から理解する。 ● 大戦後の欧米諸国の動きに関心を持っている。	● 国際連盟の抱えた課題や問題点を理解している。（**知識・理解**） ● 大戦後のヨーロッパの変化を地図資料から読み取っている。（**技能**）
93	**４　アジアの民族運動** （p. 204～205） 中国の反帝国主義運動 朝鮮の独立運動 インドの民族運動	● アジアにおける民族運動と日本の対外政策について理解する。 ● 中国，朝鮮，インドの民衆の運動を通して，民族自決の願いに関心を持つ。	● アジアの民衆の運動を通して，民族自決の願いに関心を持ち，現代社会と比較している。（**関心・意欲・態度**） ● 日本の対外政策について，自分の意見を述べている。（**思考・判断・表現**）
94	**５　大正デモクラシーと政党内閣の成立** （p. 206～207） 第一次護憲運動 大戦景気と米騒動 本格的な政党内閣の成立 大正デモクラシーの思想	● 大正デモクラシーについて，護憲運動や普通選挙の実現を通して理解する。 ● 政党内閣やデモクラシーの思想について，現代と比較しながら話し合う。	● 大正デモクラシーについて，運動の概要を理解している。（**知識・理解**） ● 大正デモクラシーの主張を現代と比較して，自分の意見や考えを述べている。（**思考・判断・表現**）
95	**６　広がる社会運動と普通選挙の実現** （p. 208～209） 社会運動の広がり 解放を求めて 女性運動と男子普通選挙の実現	● デモクラシーの高まりなどの影響を受け，多くの民衆運動が盛んになったことを理解する。 ● 当時の女性差別などについて，現代と比較しながら考えをまとめる。	● 女性差別からの解放などの動きについて，進んで発言しようとする態度を身につけている。（**関心・意欲・態度**） ● 普通選挙の実現などについて，運動の概要を理解している。（**知識・理解**）
96	**７　新しい文化と生活** （p. 210～211） 教育の広がり 大衆文化の発展 新しい思想や文化 都市の生活	● 大正期の教育と文化について理解する。 ● 市民生活の変化を通して，文化の大衆化などに触れる。	● 関東大震災の概要と大正期の教育と文化の特徴を理解している。（**知識・理解**） ● 文化の大衆化について，自分の意見や考えを述べている。（**思考・判断・表現**）

2節　世界恐慌と日本の中国侵略（配当5時間）　＊(5)のカ

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 世界恐慌の原因について理解させるとともに，各国の対応などの違いを考えさせ，ファシズムの台頭について自分の意見を持たせる。 ● 日本の大陸進出，軍国主義化の経緯を，地図などの資料を用いて具体的に理解させる。	● 世界恐慌について，原因や影響に関心を持ち，現代の経済状況などと比較するなど，意欲的に追究している。 ● 日本の大陸進出などについて，自分たちと違う世代の意見に関心を持ち，聞く態度を身につけている。
	社会的な思考・判断・表現
	● 世界恐慌の起こった原因を，資本主義経済の仕組みの中から考えている。 ● 日本の軍国主義化について，現代的視点からの批判をしつつ，その原因や理由について考え，自分の意見を述べている。
	資料活用の技能
	● 当時の日本の新聞などから，軍部の台頭を読み取っている。 ● 「日中戦争の広がり」などを用いて，戦争の拡大を読み取っている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 世界恐慌からファシズムの台頭までの流れを，理解している。 ● 日本における政党政治の衰えと軍部の台頭までの流れを，理解している。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
97	**1　世界恐慌とブロック経済　(p.212～213)** 世界恐慌と大不況 アメリカのニューディール ブロック経済	● 世界恐慌の概要と，欧米諸国の対応について理解する。 ● 資本主義経済の仕組みについて，具体的な資料を基に話し合う。	● 世界恐慌の概要と欧米諸国の対応を各国別に理解している。**（知識・理解）** ● 資本主義経済の仕組みを，現代と比較して考え，自分の意見を述べている。**（思考・判断・表現）**
98	**2　欧米の情勢とファシズム　(p.214～215)** ファシズム イタリアのファシズム ドイツのファシズム	● イタリアとドイツに台頭してきたファシズムの実態について理解する。 ● ファシズムが日本に与えた影響について考える。	● ファシズムの問題点を，現代の社会や生活と関連させて，考えようとする態度を身につけている。**（関心・意欲・態度）** ● ファシズムの台頭の様子について理解している。**（知識・理解）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
99	**３　昭和恐慌と政党内閣の危機　(p.216～217)** 政党政治の進展と行きづまり 昭和恐慌 難航する外交	● 日本の政治の流れを，世界の動きと関連させながら理解する。 ● 日本の世界恐慌への対応や政党政治が行きづまっていく状況について考える。	● 世界の動きと関連させながら，日本の政治の流れを理解している。**(知識・理解)** ● 政党内閣が信頼を失っていった理由を，自分の言葉で述べている。**(思考・判断・表現)**
100	**４　満州事変と軍部の台頭　(p.218～219)** 満州事変と日本の国際的孤立 軍部の発言力の高まり 経済の回復と重化学工業化	● 満州事変から国際連盟脱退までの経緯を理解する。 ● 国民の困窮や軍部の主張などについて具体的に触れ，当時の日本の状況を考える。	● 満州事変から国際連盟脱退までの経緯を理解している。**(知識・理解)** ● 軍部の主張や国民の生活を具体的に調べ，当時の状況から，日本の進路について考え，自分の意見を述べている。**(思考・判断・表現)**
101	**５　日中戦争と戦時体制　(p.220～221)** 日中戦争の開始と長期化 強まる戦時体制	● 日本の中国侵略の実態とそれに対する中国民衆の動きを理解する。 ● 当時の日本の社会や国民生活の状況を通して，国民の思いや考えに気付く。	● 当時の日本の状況と，中国の民衆の立場を理解し，公正に判断しようとする態度を身につけている。**(関心・意欲・態度)** ● 国民生活が次第に統制されていった状況を理解している。**(知識・理解)**

3節　第二次世界大戦と日本（配当6時間）　＊(5)のカ

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 第二次世界大戦の原因や概要について理解させ，ヨーロッパとアジアの動きを比較しながら日本の動向を考えさせる。 ● 戦争体験者などに，積極的に体験談を聞く態度を育てるとともに，戦争の被害と加害の実態を調べ，聞こうとする態度を身につけさせる。	● ユダヤ人迫害など，戦争の名の下に行われた行為について関心を持ち，平和を希求する態度を持っている。 ● 戦争体験者から，被害と加害の実態を調べ，聞こうとする態度を身につけている。
	社会的な思考・判断・表現
	● ファシズムと反ファシズムの主張を調べ，自分の意見を述べている。 ● 当時の日本の政府や軍部の主張などを批判的に読むなど，公正な立場で考え，自分の意見を述べている。
	資料活用の技能
	● 「第二次世界大戦中のヨーロッパ」「太平洋戦争」を用いて，戦争の拡大の様子を読み取っている。 ● 文章資料などから，当時の日本の民衆の願いや思いを読み取っている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 第二次世界大戦の原因・経過・結果について，理解している。 ● 太平洋戦争における戦時下の日本の民衆の生活について，理解している。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
102	**1　第二次世界大戦の始まり　(p.222～223)** 第二次世界大戦の始まり 戦争の拡大 ドイツの占領政策	● 戦争がヨーロッパで起こり，拡大していった経緯を理解する。 ● ドイツやイタリアと同盟を結ぶなど，日本が選んだ行動について，国際的な視野で考える。	● ヨーロッパで起こった戦争の原因・経過を理解している。**（知識・理解）** ● 日独伊三国同盟を結んだ日本の行動について，国際的な視野を踏まえて自分の意見を述べている。**（思考・判断・表現）**
103	**2　太平洋戦争の開始　(p.224～225)** 日本の南進 日米交渉の決裂 太平洋戦争の始まり	● 日本のとった南進政策について考え，話し合う。 ● 太平洋戦争の背景や戦争が始まった経緯について理解する。	● 戦争に対して，資源や国力の差について，具体的な資料を基に考えている。**（技能）** ● 太平洋戦争勃発のきっかけやその後の経過について，概要を理解している。**（知識・理解）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
104	**３　戦時下の人々** （p.226～227） 国民の動員 植民地と占領地 総力戦と犠牲者	● 戦争の長期化とともに国民生活が統制されていく実態を理解する。 ● 当時の体験談を聞く機会を設定し，戦争の持つ意味を問い直す。	● 当時の体験談を積極的に聞く態度が身についている。（**関心・意欲・態度**） ● 日本国内のみでなく，植民地や占領地における状況を理解している。（**知識・理解**）
105	**４　戦争の終結** （p.228～229） イタリアとドイツの降伏 空襲と沖縄戦 日本の降伏	● ドイツ・イタリアの降伏，沖縄戦から原爆投下などを通して，戦争終結の経緯を理解する。 ● 戦争の被害の実態を通して，国民の苦しみについて関心を持つ。	● イタリア・ドイツの降伏，沖縄戦，原爆投下などの戦争終結までの概要を理解している。（**知識・理解**） ● 戦争と国民について関心を持ち，自分の意見を述べている。（**思考・判断・表現**）
－	**［深めよう］北海道とアイヌ民族の歴史** （p.234～235） 古代の北海道 和人との交易とアイヌ民族 松前藩とアイヌの人々 近代以降のアイヌ民族	● 明治時代以前の北海道やアイヌ民族の歴史を理解する。 ● 「アイヌ文化振興法」の制定や，国会の「先住民決議」から，アイヌ民族が誇りを持って暮らせる社会について考える。	● 古代からの北海道や，アイヌ民族の歴史のあらましを理解し，その知識を身につけている。（**知識・理解**） ● アイヌ民族の尊重のためにどうしたらよいか，積極的に考えようとしている。（**関心・意欲・態度**）
－	**［深めよう］全ての子どもに教育を**　（p.236） 石井十次 留岡幸助 政府の取り組み	● 石井十次と留岡幸助の活動を学ぶとともに，当時の障がい者に対する社会の対応について考える。 ● 政府の取り組みから，現代に至る福祉政策について話し合う。	● 当時の社会風潮の中での，石井十次と留岡幸助の苦労と努力について関心を持っている。（**関心・意欲・態度**） ● 現代の福祉政策についても関心を持っている。（**関心・意欲・態度**）
106 107	**章のまとめ**	● 言語活動を通して主に大正時代から昭和時代を大観し，時代の特色を捉える。	● 主に大正時代から昭和時代の特色をまとめる学習に意欲的に取り組み，作品を完成させている。（**関心・意欲・態度**） ● 主に大正時代から昭和時代の人物や歴史的事象を理解している。（**知識・理解**） ● 主に大正時代から昭和時代の特色を自分の言葉で表現している。（**思考・判断・表現**）

第７章　現代の日本と世界（配当 14 時間）

◆評価規準の例（章全体）

<table>
<tr><th>指導目標</th><th>社会的事象への関心・意欲・態度</th></tr>
<tr><td rowspan="8">● 第二次世界大戦後の，日本の民主化と再建，国際社会への復帰について，世界の動きと関連させながら理解させる。
● 高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きの概要を，国民の生活と関連させて理解させる。
● 国際社会における日本の役割や，地域社会における個人の取り組みなどに関心を持たせるとともに，将来の社会に期待をいだかせ，社会の一員としての自覚を深めさせる。</td><td>● 祖父母，親の体験などを積極的に聞き，個人の歴史と日本全体の歴史とを関連付けている。
● 地球市民として，世界的な視野を持つ公正な歴史観を持とうとしている。</td></tr>
<tr><th>社会的な思考・判断・表現</th></tr>
<tr><td>● 戦後の日本の歩みについて考え，時代が大きく変わる時期を捉え，自分の意見を述べようとしている。</td></tr>
<tr><th>資料活用の技能</th></tr>
<tr><td>● 表やグラフなど数量的資料を積極的に活用している。
● 多くの写真や実物資料を用いて，当時の生活を実感している。</td></tr>
<tr><th>社会的事象についての知識・理解</th></tr>
<tr><td>● 終戦から現在に至るまでの出来事の概要について，世界の動きと関連させて理解し，その知識を身につけている。
● 終戦から現代に至るまでの問題や，日本や世界の抱える将来の課題を理解している。</td></tr>
</table>

1節　戦後日本の発展と国際社会（配当9時間）　＊(6)のア・イ

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 戦後の日本の歩みを，民主化政策や憲法制定を中心に理解させ，世界の中の日本の立場を考えさせる。 ● 東西対立などゆれ動く国際情勢について理解させ，両陣営の立場について比較しながら考えさせる。 ● 高度経済成長期の日本国内の変化や，国際的な立場の変化について理解させる。	● 戦後の日本の歩みについて関心を持ち，当時を知る人々から当時の状況を聞こうとする態度が身についている。 ● 高度経済成長期における各家庭の出来事と関連する日本や世界の歴史に関心を持っている。
	社会的な思考・判断・表現
	● 東西対立の両陣営の立場について比較し，自分の意見を述べている。 ● 戦後日本の政策の転換を，当時の情勢などを踏まえて判断し，自分の意見を述べている。 ● 高度経済成長がもたらした国民生活の向上という側面と公害問題などの負の側面とを公正に判断している。
	資料活用の技能
	● 当時の写真などから，社会の様子を読み取っている。 ● 「東西の対立」を用いて，当時の世界の様子を読み取っている。 ● 「日本の国民総生産と経済成長率の変化」から，日本の国民生活の変化を読み取っている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 民主化政策や憲法制定などの動きについて理解し，その知識を身につけている。 ● 東西対立などゆれ動く国際情勢の中での，日本の歩みを理解している。 ● 高度経済成長期の日本人の生活の変化を理解し，その知識を身につけている。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
108	章の導入	● 年表にある事柄や人物，文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ● 現代の日本について，写真や年表などの資料を見て，この時代のイメージを持ったり，世界と関わりを予想したりする。	● これから学習する日本の出来事や日本と世界の関わりについて関心・意欲を高めている。（**関心・意欲・態度**） ● 資料の読み解きや比較から，この時代の特色を考えようとしている。（**思考・判断・表現**）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
109	**1　占領下の日本** **(p.242～243)** 敗戦後の日本 国民の苦難 占領の始まりと非軍事化	● 敗戦後の日本の状況や発生した問題，GHQ による占領政策について理解する。 ● 戦後の国民の苦難について，体験者などの話を通して考える。	● 戦後の占領政策と日本が抱えた問題について概要を理解し，その知識を身につけている。**(知識・理解)** ● 戦後の日本の歴史と家族などの個人の歴史の関わりについて考え，関心を持っている。**(関心・意欲・態度)**
110	**2　民主化と日本国憲法** **(p.244～245)** 民主化 日本国憲法の制定 政党政治と社会運動の復活	● 戦前との比較によって，具体的な改革の内容に関心を持つ。 ● 憲法制定を通して，民主化の実態を理解する。	● 憲法や民法の比較を通して戦前からの変化について考え，自分の意見を述べている。**(思考・判断・表現)** ● さまざまな改革に関する資料を収集し，適切に選択して図表にまとめている。**(技能)**
111	**3　冷戦の開始と植民地の解放　(p.246～247)** 国際連合と冷戦の始まり 新中国の成立と朝鮮戦争 植民地支配の終わり	● 国際連合の誕生と東西冷戦について理解する。 ● 中国，朝鮮を中心に，戦後のアジアの動きを，世界の動きを背景に理解する。	● 国際連合の誕生，東西冷戦の概要について理解し，その知識を身につけている。**(知識・理解)** ● 戦後のアジアの動きに関心を持ち，アジアの中の日本という視点を持っている。**(関心・意欲・態度)**
112	**4　独立の回復と55年体制** **(p.248～249)** 占領政策の転換 平和条約と安保条約 自民党長期政権と安保条約改定	● 占領政策の転換を，東アジアの動きと関連付けながら理解する。 ● サンフランシスコ平和条約や日米安全保障条約について，当時の世論を意識しながら話し合う。	● 占領政策の転換などの日本の歩みをアジアの動きと関連付け，概要を理解している。**(知識・理解)** ● サンフランシスコ平和条約や日米安全保障条約について，当時の国民の考えを調べたり，家族の意見を聞いたりするなど，関心を持っている。**(関心・意欲・態度)**
113	**5　緊張緩和と日本外交** **(p.250～253)** 緊張緩和の進展 広がる日本の外交関係 沖縄の日本復帰	● 世界の緊張緩和の動きやアジアへの広がりを理解する。 ● 日本の外交を，沖縄の日本復帰を中心に話し合う。	● 世界の緊張緩和の動きを，年表等を用いて，具体的に理解している。**(知識・理解)** ● 沖縄の人々の感情などに関心を持ち，その苦労について調べようとしている。**(関心・意欲・態度)**
114	**［歴史にアクセス］日本の領土をめぐる問題とその歴史　(p.252～253)** 竹島 北方領土 尖閣諸島	● 竹島，北方領土，尖閣諸島の領有の歴史的起源と来歴に関する日本政府の見解を理解する。 ● 領土問題が存在「する」「しない」をめぐって各国の見解が異なる背景を考える。	● 竹島，北方領土，尖閣諸島の領有に関する年表をつくり，日本政府の見解を理解している。**(知識・理解)** ● これらの島の領有に関する各国の歴史解釈の違いを多面的･多角的に考察し，その背景を表現している。**(思考・判断・表現)**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
115	**６　日本の高度経済成長** **（p.254～255）** 高度経済成長 国民生活の変化と公害 経済大国日本	● 日本経済が高度成長をとげ，国民生活が変化したことを理解する。 ● 経済発展のかげで，社会にさまざまなひずみが生まれたことに気付く。	● 高度経済成長が国民の生活に大きな変化をもたらしたことを理解している。**（知識・理解）** ● 「日本の国民総生産と経済成長率の変化」から，有用な情報を適切に選択して，読み取っている。**（技能）**
116	**７　マスメディアと現代の文化　（p.256～257）** 戦後の文化とマスメディア テレビと高度経済成長期の文化 インターネットの発達	● 日本のマスメディアの発達の歴史を理解する。 ● マスメディアによる生活の変化やこれからのつき合い方について考える。	● マスメディアの中心が，社会の発展とともに変化してきたことを理解している。**（知識・理解）** ● マスメディアの利点・欠点について考えている。**（思考・判断・表現）**

2節　新たな時代の日本と世界（配当5時間）　＊(6)のイ

◆評価規準の例（節全体）　＊は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
● 冷戦終結から現在までの日本の歩みを理解させ，将来の日本と世界について考えさせる。 ● 各家庭における冷戦終結から現在までの出来事と，日本や世界の歴史を比較しながら考えさせる。	● 冷戦終結から現在に至るまでの各家庭の出来事と関わる，日本や世界の歴史に関心を持っている。 ● これからの日本や日本人について社会の一員としての自覚に立って考えていこうとする意欲を高めている。
	社会的な思考・判断・表現
	● 現代社会の発展だけでなく，問題点についても公正に判断し，自分の意見を述べている。 ● 現代の差別や偏見を公正に判断し，自分の意見を述べている。
	資料活用の技能
	● 写真資料から世界の変化や現状を読み取っている。 ● 資料から日本の国民生活の変化を読み取っている。
	社会的事象についての知識・理解
	● 高度経済成長期から現在に至るまでの日本の歩みの概要を理解し，その知識を身につけている。 ● 国内外の動きや国際社会における日本の役割を理解し，その知識を身につけている。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
117	**1　冷戦後の国際社会** （p.258～259） 冷戦の終結 国際協調への動き 相次ぐ地域紛争	● 冷戦終結と，その後の国際協調の動きについて理解する。 ● 冷戦終結後に起こった地域紛争について理解する。	● 冷戦終結後から現在に至るまでの国内外の動きを理解している。**（知識・理解）** ● 日本のPKOなどの活動について，多面的・多角的に考察し，自分の意見を述べている。**（思考・判断・表現）**
118	**2　変化の中の日本** （p.260～261） 冷戦後の日本 55年体制の終わり バブル経済崩壊後の経済	● 冷戦後の日本の政治の流れを，経済と関連付けて理解する。 ● 国際社会における日本の立場について，近年の動きを通して関心を持つ。	● 日本の政治の流れの概要を理解している。**（知識・理解）** ● 国際社会の動きと，その中の日本の動きを，年表などにまとめている。**（技能）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
119	**３　持続可能な社会に向けて　(p.262～263)** 日本社会の課題 グローバル化の進展 歴史を学んで	● 平和で公正な社会をつくるため，差別や偏見をなくすことが課題であることを理解する。 ● 国際社会の中での日本の果たすべき役割について話し合う。	● 現代社会の差別や偏見をなくすための方法や，自分たちの役割を考えている。**（思考・判断・表現）** ● 国際社会における日本の果たすべき役割について関心を持ち，進んで意見を述べる態度を身につけている。**（関心・意欲・態度）**
－	**［深めよう］現代の公害問題とその克服　(p.268～269)** 高度経済成長と公害問題	● 日本の公害について，高度経済成長との関連の中で理解する。 ● 世界的な環境問題と地球の未来について話し合う。	● 四大公害裁判をはじめ，日本の公害についての概要を理解している。**（知識・理解）** ● 公害問題・環境問題が起こる原因を社会的な背景の中で考えている。**（思考・判断・表現）**
－	**［深めよう］歴史の中の大震災　(p.270～271)** 古代から近世までの震災 三陸沖地震 関東大震災と復興都市計画 阪神・淡路大震災とボランティア 東日本大震災と子どもたち	● 日本の過去の大震災について知り，当時の人々の対応を理解させる。 ● 過去の人々の震災の経験から，これからの私たちの防災や安全を考える。	● 過去の大震災の被害や人々の行動について理解している。**（知識・理解）** ● 過去の経験からこれからの防災や社会づくりについて考えている。**（思考・判断・表現）**
－	**［深めよう］人類の歴史とエネルギー　(p.272～273)** 産業革命以前のエネルギー 産業革命と電気の登場 原子力の登場と環境	● 人類とエネルギーの関わりについて，エネルギーの発展を通して理解している。 ● 現代のエネルギーの利用と課題を考え，これからのエネルギー使用について話し合う。	● 人類の歴史とエネルギー利用の変化について，概要を理解している。**（知識・理解）** ● エネルギー利用の課題や取り組みについて関心を持ち，日常生活に関連して考えようとする態度を身につけている。**（関心・意欲・態度）**
120 121	**歴史学習のまとめ**	● 言語活動を通して現代を大観し，時代の特色を捉える。 ● 日本の歴史の特色を自分の言葉で表現する。	● 現代の特色をまとめる学習と日本の歴史全体をまとめる学習に意欲的に取り組んでいる。**（関心・意欲・態度）** ● 現代の主な人物や歴史的事象を理解している。**（知識・理解）** ● 日本の歴史の特色を自分の言葉で表現している。**（思考・判断・表現）**